



TITLE:

米國より通信

AUTHOR(S):

長田, 政二

CITATION:

長田, 政二. 米國より通信. 天界 1932, 12(138): 353-353

ISSUE DATE:

1932-09-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/162264>

RIGHT:

きるのだ。

かゝる好適の地が、なぜに今日まで識者によつて等閑に附せられてゐたか。怪しむはひとり吾人のみではあるまい。一年間を通じて、かくも多日数の晴夜に恵まれてゐる本邦唯一の地、しかもかくも有利な天體の觀測圈を有するの地、ここにわれらは一大天文臺を切に求めるのである。望遠鏡は六十センチ、長さは最短限度十メートルを重要品とする一大天文臺を求むるのである。

かくして徒らに南國の都をして情熱一途に終らしめることなく、冷やかな科學のメスをして南國人への唯一の興奮劑たらしむべく、かつ傳説の都はこの科學の所産たる天文臺の進出によつて毫もその古都たるの美を傷はるゝことなく、却てエジプト、バビロンの古代より傳はる星群の神秘が此の地の古都的價値を上ぐるに不尠、力あるは疑ひを容れぬ處であらう。

米 國 よ り 通 信

淺學の私屢々萬國時、日本時等を米國太平洋沿岸時に換算閉口候まゝ別紙の如きものを愚考候が、或はより完全平易なるものが既に考案せられ居る事と推察候が、未だ斯くの如きもの御座無く候へば「天界」の一頁を割愛して正確なるものを印刷せられ、切り取りて厚紙にてもはりて机上に供へおくならば、我々の如き素人には多少のヘルプ (help) になりはせぬかと存じ御送り申し上げ候間御笑覽下され度、勿論取捨は貴會の御勝手に御座候。

末筆乍ら貴會會員中にて何か當國にて御用も御座候へば喜んで出来るだけの事は致すべく候

一九三二年二月二十五日

長 田 政 二

M. Nagata

P. O. Box 263, Brawley, Calif, U. S. A.